



02 小佐々地区複合施設 **複合化**

小佐々地区コミュニティセンター、小佐々伝習館、小佐々郷土館を小佐々支所へ複合化しました。

市町合併を経て、小佐々支所となった旧小佐々町役場はあまり使われていない遊休スペースが生じていました。ムダを削減し建物を有効に活用するため、老朽化していたコミュニティセンターをはじめ、主に太鼓の練習場として利用されている伝習館、小佐々地区の歴史を展示する郷土館を小佐々支所へ複合化しました。

4つの機能が集約されることで、建物の維持管理費を大幅に抑制でき、郷土品の視認性も向上、利用者の需要にもワンストップで応えることができるようになりました。

After



令和4年4月供用開始予定

小佐々支所に集約

Before

コミュニティセンター



伝習館



郷土館



延床面積

小佐々地区コミュニティセンター	1,467.32㎡	▶	1,303.42㎡
小佐々郷土館	352㎡	▶	224.06㎡
小佐々伝習館	166㎡	▶	90.74㎡
小佐々支所	4,015.57㎡	▶	2,397.35㎡

総面積 6,000.89㎡ ▶ 4,015.57㎡ (1,985.32㎡削減)

知ってほしい!
佐世保の公共施設老朽化問題について

YouTube動画で見る

公共施設の老朽化問題に関する動画を配信しています!
佐世保市の公共施設老朽化問題への取り組みについて動画で分かりやすく解説。視聴の上、コメントなどをお寄せください。



動画を見る



A4判 16頁



マンガで読む

漫画で読む、公共施設マネジメントほか、特集古賀選手インタビュー「スポーツと公共施設」や佐世保市の公共施設の老朽化問題の情報を掲載。

漫画で分かりやすく公共施設の老朽化問題を紹介

PDFでもご覧いただけます

「マンガで読む公共施設マネジメント」
左記のQRよりPDFでご覧いただけます

配布場所

佐世保市役所（本庁・支所）、
コミュニティセンター 他



詳しい情報や最新情報はこちらから

佐世保市施設再編保全関連ページ

各種方針や計画、今後の取り組み予定など公共施設の老朽化問題に関する情報を、佐世保市のホームページで公開しています。



問い合わせ先・発行元

佐世保市財務部 資産経営課

〒857-8585 長崎県佐世保市八幡町1番10号

電話:0956-24-1111(代表)

FAX:0956-25-9648

佐世保市

施設の再編計画?

長寿命化?

バリアフリー化?

複合化?

公共施設の老朽化問題

2022
Report



2つの施設がリニューアルしました!

01 世知原小学校体育館・講堂

02 小佐々地区複合施設

佐世保市の
公共施設の

未来を考えよう!

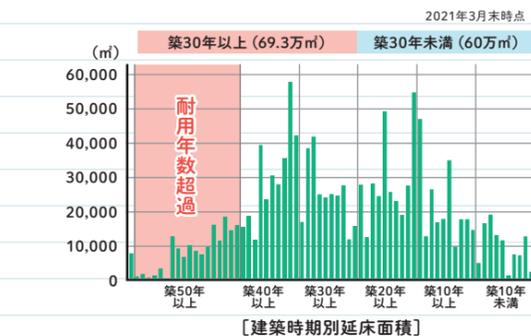
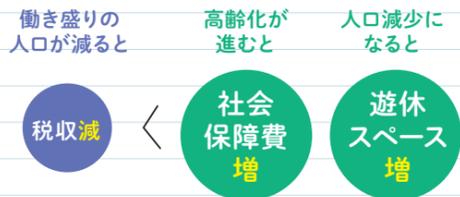
公共施設マネジメントレポート

佐世保市が保有する公共施設の老朽化が進んでいます。

佐世保市は約3,000棟(約880施設)の公共施設を保有しています。
市民1人あたりの延床面積は5.4㎡で、全国平均の3.3㎡を大きく上回っています。

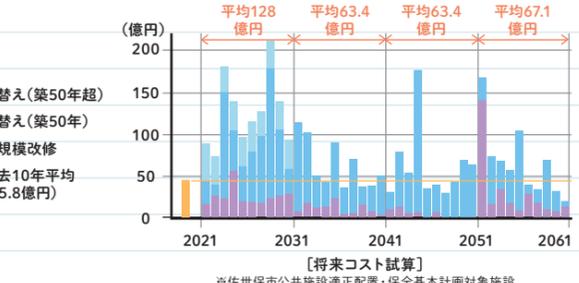
耐用年数を迎える施設が年々増えています！

公共施設の多くは1970年代頃の人口増加や高度成長にあわせて建築されたもので、佐世保市が保有する半数以上の施設が築30年を超えています。これらの施設が、今後一斉に建替えや大規模改修の時期を迎えることになります。



建替えや改修が追いつきません！

すべての施設を建替えるには、今後40年間にわたり年平均80.5億円が必要となります。そのうえ人口減少、少子高齢化、社会保障費の増加により現在よりも財政状況は厳しくなることが予想されます。



今後40年間の建替え・改修にかかる費用の総額
3,221億円

保有している施設を全て維持していくことはできません！

今後も安全に公共施設を利用するために「適切な管理、適切な施設選択」が必要です

公共施設の適正配置で延床面積を15%以上削減！

※15%=121,221㎡(適正配置対象施設ベース)

適正配置とは…?

佐世保市の身の丈にあった「施設の面積や機能」へ見直すことです。

- 機能の集約化・複合化
支所 + コミュニティセンター = コミュニティセンター 支所
機能集約化・複合化のイメージ
- 規模縮小 適正な面積に規模を縮小して建て替える
- 民営化 施設機能を地元又は民間等へ譲渡する
- 廃止 施設を廃止し処分(貸付・売却)または解体

適正配置を行うと!?

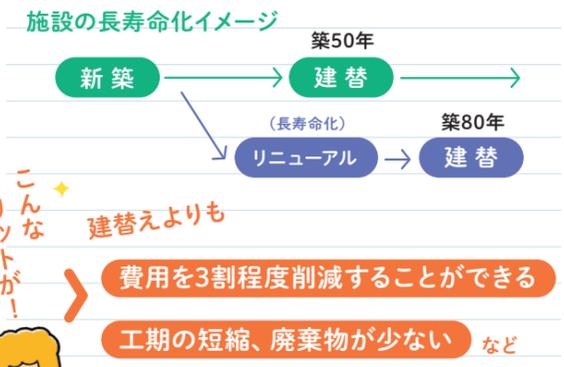
- 維持管理費の削減
- ワンストップサービスの提供 など

メリットが!

長寿命化改修で耐用年数を80年以上に伸ばして、費用を削減！

施設の老朽化対策として、「長寿命化改修」の取り組みを進めています。

既存の建物躯体(基礎、壁、柱等)を引き続き利用しつつ、全面的に更新することで、これまで50年程度で建替えていた建物の目標耐用年数を80年以上とすることを目指しています。



公共施設 マネジメントレポート File

事例で見る佐世保市の公共施設ビフォー・アフター



01 世知原小学校体育館・講堂 複合化

世知原小学校体育館、旧世知原地区公民館体育室を統合整備し、バリアフリーにも対応しました！

世知原小学校体育館は、建築から45年が経過し老朽化が進み、安全に使うためには、改修や建替えが必要な時期を迎えていました。また小学校体育館に近接していた旧世知原地区公民館体育室についても老朽化が著しく耐震性の面でも課題がありました。2つの建物を複合化して建替えることで、今後の維持管理費、整備費用を抑えつつこれらの問題を解決することができ、バリアフリーにも対応しました。

Before



After



延床面積	世知原小学校体育館	旧世知原地区公民館体育室	複合化後	削減面積	総面積
	700㎡	962.94㎡	894.20㎡ 400㎡	368.74㎡削減	1,662.94㎡ 1,294.20㎡

令和4年4月供用開始予定

平成30年度に世知原支所と旧世知原地区公民館(体育室除く)の複合化を別途実施しています。(削減面積1,083㎡)

複合化にあわせて、全ての人が利用しやすい施設になりました！

Before



After



体育館入口
スロープ

New



小学校体育館ステージ横の昇降機

New



バリアフリーに対応したトイレ

